

① 2005/5/3「セントラル新聞社」朝刊のスポーツ面より



優勝した日本ペア 佐藤の力強いグランドストローク 東京テニススタジアム

先月29日より開催されている「テニス世界選手権」の女子ダブルス決勝（2日・東京テニススタジアム）、佐藤美佳（セントラルテレビ）と山本明子（スタースポーツ）の日本人ペアが、昨年優勝のロシアペア（ペトローワ、アンドレーエワ）

## 世界テニス 2-1でロシアペア下して

# 世界を制す！佐藤・山本組

をセットカウント2-1で下し、見事に優勝した。日本人選手が同大会で優勝するのは史上初。試合は大接戦。第1セットから、ロシアペアの力強いストロークプレーを日本ペアが粘り強くしのぎながらミスを誘うという展開で、ゲームカウント7-5で日本ペアが先取すれば、第2セットはペトローワの8本のサービスエースなどで逆ロシペアが6-4で取り返した。しかし、第3セットは佐藤の攻守に渡る大活躍で、粘るロシアペアを振り切り、7-5で日本ペアが押し切った。佐藤も山本もいわゆる4大世界大会での優勝

は初めて。  
日本での優勝 最高  
佐藤美佳の話 大会前まではひざの調子が悪く、練習も思うようにできず不安だった。でも観客のみなさんにたくさん声援をいただき、後押ししてもらった。その声援に優勝という形で応えられ、最高に幸せ。（ペアの）山本さんには「美佳の持ち味！思い切り行こう！」と言ってもらい、安心してプレーできた。心より感謝しています。

粘り強さが上  
ペトローワの話 私たちがストロークはパワフルだったけど、粘り強さはアキコ（山本）の方が上だったわ。ミカ（佐藤）はいい選手ね、これからヨーロッパやアメリカの大会でも活躍すると思うわ。

余白へ気づいたことを自由に書きこんでもらう。また、記事・見出しにサイドラインを引いたり、関連ある言葉同士を線で結んだりすると分かりやすい。写真の違いにも目を向けるように促し、気づいたことを自由に書きこんでもらうようにするとよい。

## 世界テニス 史上初！日本人ペアV



優勝盾を手に、喜びの山本(左)と佐藤(右)＝東京テニススタジアム

「テニス世界選手権」の女子ダブルス決勝（2日・東京テニススタジアム）で、山本明子（スタースポーツ）と佐藤美佳（セントラルテレビ）の日本人ペアが、昨年同大会優勝の世界ランク1位ペトローワ・アンドレーエワ組（ロシア）を、セットカウント2-1（7

## 山本 佐藤 ロシアペアに競り勝つ

15、4-16、7-15）で下し、見事に優勝した。日本人の世界選手権優勝は、男女を通じて初めて。試合は実力に勝るロシアペアが押し気味に展開。しかし、ペトローワの強烈なサーブ、アンドレーエワの重いグランドストロークを日本ペアが粘り強く拾い、チャンスが呼びこんだ。特に勝負どころでの山本の落ち着いたプレーや佐藤のフットワークの良い動きが光り、地元の大声援にも後押しされ、結果ロシアペアのミスを誘った形で決着がついた。

山本・佐藤ペアは、2週間前のニュージャパンカップ大会（主催 新日本新聞社）でも優勝しており、その調子を保って

本大会へ臨むことができた。これで今月15日発表の世界ランクも大幅にアップする見通し。

山本明子の話 地元開催での大きな大会に優勝できて、ホッとしている。ここ2週間ずっと調子がいいので、明日からのシングルスでもいい結果を出したい。

佐藤美佳の話 観客のみなさんにたくさん声援をいただき、後押ししてもらった。山本さんがうまくリードしてくれたので、思い切ってプレーできたのが良かった。

粘り強さに負けた  
ペトローワの話 私たちがパワフルだったけど、ねばり強さでアキコ（山本）たちの方が上だった。ミカ（佐藤）とは初めて戦ったけど、とてもいい選手。これから、もっと活躍するはず。

② 2005/5/3「新日本新聞社」朝刊のスポーツ面より

この2つの記事（フィクション）では、「マスメディア情報と商業とのかかわり」に着目すると良い。社会的な文脈には、政治的・宗教的・文化的…等、様々な要素があるが、小学校の学習内容として取り扱う場合は、発達段階などを慎重に考慮する必要がある。